

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和7年2月

（１）新規就農者の意欲的な営農に期待して

1月下旬から2月中旬に、指導農業士、町農政担当課・JA・農業普及課の担当者を交え、管内新規就農者ほ場を部門別に巡回しました。就農時の計画書等を確認しながら、栽培状況、経営管理、飼養管理状況等を聞き取りし、土壌診断に基づいた施肥、除草対策、病虫害防除及び簿記記帳の習得等を助言指導しました。新規就農者の技術は年々向上し、今後も各部会・振興会研修会や新規就農者を対象とした講座等で、新規就農者の所得向上を支援します。



（２）ばれいしょのかごしまブランド産地指定30周年記念大会を開催

2月1日、和泊町やすらぎ館で沖永良部の「春のささやき」ばれいしょのかごしまブランド産地指定30周年記念大会が開催され、約200人が出席しました。大会では過去30年の歩みの振り返り、種場産地や功労者への感謝状の贈呈、農開C徳之島支場の研究員による「しまあかり」について講話がありました。また、消費者に信頼される安全なばれいしょ作りを目指し、強い産地体制を築く決意を新たに表明しました。農業普及課は、引き続きブランド産地の維持拡大に取り組んでいきます。



（３）沖永良部産花きの知名度向上を目指して名古屋でPR

1月31日から2日間、名古屋金山総合駅で開催された「かごしまの観光と農産物フェア in 名古屋」に、えらぶの花推進協議会が参加しました。当日は、協議会が作成したPR資料の展示や、沖永良部産キクとソリダゴを組み合わせた花束200束を販売しました。花束は40代以上の女性を中心に好評で、2日目の15時には完売しました。また、購買者からユリやトルコギキョウの要望もあり、花きの潜在的な需要を実感する機会となりました。農業普及課は、消費地の需要に応える産地づくりの支援を続けます。



(4) 沖永良部産花き生産技術の向上を目指し、花き品評会を実施

2月4日、和泊町役場で沖永良部花き品評会が開催され、和泊・知名両町から110点の切り花が出品されました。両町合同で開催する品評会は、今年度が初の開催で出品数は増加しました。キクをはじめとする5部門を関係機関による相互審査で部門上位品を選出後、会場全員の挙手で最優秀賞を決定しました。両町合同開催や市場関係者を交えない審査は初の試みでしたが、生産者からはおおむね好評でした。品評会の受賞が生産者の技術研鑽の励みになるよう、農業普及課は様々な面で支援します。



(5) 知名町でフラワーバレンタインイベント実施、会場賑わう

2月11日、知名町のコミュニティスペース「entaku」で、フラワーバレンタインイベントが開催されました。このイベントは知名町農業青年クラブが、大切な人へ花をプレゼントすることで、愛情や感謝の気持ちを伝えることを目的として毎年開催しています。今年は、体験型フラワーアレンジメント教室が開催され、親子連れなど20組が参加しました。参加者からは、「参加して良かった。家に飾るのが楽しみ。来年も開催してほしい」と意見があり、初めての体験に、会場は大いに賑わいました。

(6) 技術研鑽を目指してトルコギキョウ産地視察 in 沖縄

1月28日、沖縄県にてトルコギキョウ視察研修が行われ、沖永良部島から7人、与論島から4人の生産者及び関係機関が参加しました。研修では、沖縄県農業研究センター、JAおきなわの生産者ほ場、個人出荷生産者ほ場を訪問し、暖地に適した品種選定や土壌病害対策、栽培方法、出荷方法などを学びました。生産者の積極的に質問する様子が見られ、有意義な研修となりました。来年度も島外視察研修を希望する生産者の意見が多く寄せられたことから、農業普及課は、継続できるよう支援します。

